

学校評議員からの意見

1 「教育課程の充実」

Q1	児童・生徒の障害の実態を踏まえて、学習指導要領に基づいた適切な目標や手だてを設定し、実践・評価することができていますか。
Q2	児童・生徒の将来を見据えた、キャリアと自己肯定感を高める教育を進めることができていますか。

●開校間もないため、受け入れた生徒の特性の把握、各校から集まった視点の異なる教員間の意見調整など課題が多いと感じます。実践は始まっていますが評価はこれからですし、生徒のキャリアを見通すには少し時間がかかるのではないのでしょうか。その中でも豊かな地域資源を活用した取り組みは評価したいです。さらに、放課後デイサービスや就労継続支援など生徒の帰宅後や卒後を支えている資源との関係づくりを進めていただきたいと存じます。学校で実施しているプログラムとの連動性が取れていないように思われます。

●Q1～Q2「教育課程の充実」及びQ3～Q6「授業力の向上」については、新設校として県全体の課題や転学前の児童生徒の学習状況などを踏まえて取り組んでいること、研修の充実を図っていること等、評価できます。ただ、教育課程の充実や「授業力の向上」は絶えず改善充実が求められるものであり、学校長の総括でも課題は残っていることがうかがわれ、「やや良い」としました。

●各教科等を合わせた指導に「みらいタイム」の命名はとても良い。

●授業者支援会議は専門性の向上に有益であり、とても良い取組だと思う。

●学部間、障害種間の交流は児童生徒にとっても、職員にとっても理解啓発になり良い取組。保護者にも波及する事を願う。

2 「授業力の向上」

Q3	ICT機器やタブレット端末等を活用した授業の実践と、指導技術の向上ができていますか。
Q4	教職員の適切な言葉遣いや読書活動を通して、児童・生徒の言語環境は高められていますか。
Q5	児童・生徒の障害特性や課題に応じた、専門性のある指導が行われていますか。
Q6	日々の授業について、指導環境の整備や教材の工夫や、分かりやすい授業の充実が図られていますか。

●ICTについては研修と実践の積み重ねが大切だと考えますが、インフラや機材の充実が前提です。新設校だけにその点は十分だと考えてよいでしょう。重度の知的障がいのある子どもについて言葉がけ以外のコミュニケーションを教員間で検討することや、読書などコンテンツを体験するための誘導などこれからの課題は多くあると思います。これは個々の障害特性に応じた専門性高い指導と重なる点です。個々の授業の場面ではツールを独自につくっておられるなど工夫があると感じました。

●授業者によって授業の質に差異が生じ無いように、全職員がICTの活用が出来ているか把握した方が良い。

- 卒業後の社会参加を見据えた主権者教育、消費者教育にも力を入れて欲しい。

3「生活指導体制の構築」

Q7	障害特性を踏まえた安全・防災教育や避難訓練、安全な施設設備の整備を意識・実践することができていますか。
Q8	スクールバスの安全発着体制や自力通学の指導体制構築等、通学環境が整備できていますか。
Q9	いじめのない学校・学級づくりに努め、いじめがあった場合でも適切な対応をして再発防止に努めていますか。

●防災を意識してつくられた校舎の特徴を活かして、防災訓練や機材のチェックをしていると思います。スクールバスの運行も落ち着いているとのことなのですが、医ケアが必要な子どもが通えるような看護体制となることを願っています。いじめの防止に関しては、社会での受入が難しい障害のある子ども達を預かる場として、絶対にあってはならないことだと考えます。共生社会を意識した学校づくりと言う意味で学校全体の意識醸成に取り組んでいただきたいと感じております。

●児童生徒にとっては初めての環境であること、多様な障害種、そして準ずる教育対象の子から重度重複の子までともに在籍していることで、児童生徒間で望ましい関わり、望ましくない関わりなど、さまざまに生じてくることが考えられ、教職員は絶えず意識して児童生徒に接していくことが必要と思われます。それでQ7～Q9「生徒児童体制の構築」については、先生方の努力を求め続けるという観点からやや良いとしました。

●安全、防災教育については、今後、保護者への引渡しまでの訓練も必要である。

●スクールバスへの安全装置の設置等、降車後の点検がどの様に行われているか？

⇒安全装置の設置については、今後、国や県の指示に従い令和5年度内の導入を予定しています。また児童生徒の置き去り防止策については、介助員及び運転士による登下校時の点検を3回実施し、点検実施の有無をチェック用紙で報告しています。

●保護者対応で難しい場合は教員一人で抱え込まず、先輩、上司に相談し、速やかで丁寧な対応が望ましい。初期対応がとても大切である。

4「保健給食体制の構築」

Q10	安全・安心な医療的ケア制度の啓発と医療的ケア体制の実現がなされていますか。
Q11	適切なアレルギー対応を行うとともに、摂食機能を高める、安全でおいしい給食の提供がなされていますか。

●看護師5人の体制は心強く思います。校外学習の保護者付き添い緩和や給食注入について検討されているとのことですので是非とも実現に向けていただきたいと思います。胃瘻となるか口腔摂取をするかという摂食機能は今後の子どもたちの生きる力に大きく影響すると考えています。食事の個別対応はとても手間がかかるとは思いますが可能な限り対応をお願い出来ればと存じます。

●障害特性により、丸呑みの児童生徒が多いと思われる。摂食機能を高める日々の給食指導はと

ても大切である。家庭や事業所との情報共有、連携も大切。

●医療的ケア児の保護者待機、付き添いを可能な限り緩和して欲しい。

5 「専門性ある人材の活用」

Q12	外部専門家や関係機関との連携のもと授業改善、教材充実が図られていますか。
-----	--------------------------------------

Q13	医療的ケアの実施に関して、看護師と教職員の協働体制は図られていますか。
-----	-------------------------------------

●スクールカウンセラーや理学療法士との連携をされているとのことで大変有意義なことだと思います。南風原町で行っているように教材研究や教室環境の整備について作業療法士の意見が効果的な場合があります。他の専門職の知見を今後とも取り入れて下さると学校生活がより豊かになると思います。一方、他職との連携は手間暇もかかるので、他職種との話し合いを定期的かつ合理的に進めていくことも必要だと思います。看護師と教職員の協働体制には教頭のリーダーシップが必要なものと考えます。子どもの最大の利益を尊重したチームワークに期待をしております。

6 「学校組織の確立と教職員の行動指針」

Q14	体罰や暴言をなくすための、人権尊重に基づく指導が実践できていますか。
Q15	教職員の接遇マナー（服装、案内、電話、応答、言葉遣い）は、本校教職員として適切なものですか。

●暴言など福祉施設においても全く同じ問題が起こっています。利用者の障がいの特性から来るものですが、それを無理に抑え込むとさらに別の不適応が生じてしまいます。専門職のスーパービジョンを受けながらじっくり取り組んでいただきたいと存じます。教職員のマナーも同様で福祉施設でも即苦情につながり、その後の保護者との関係づくりに支障をきたします。保護者は子どものために我慢をしてしまうことが多いので保護者会等の時に声を拾う機会があるとよいのではないかと思います。

● Q10～Q15「保健給食体制の構築」「専門性のある人材の活用」「学校組織の確立と教職員の行動指針」については、特に事故やトラブル等もないようであり、「開放ほやほやの学校」としての緊張感が学校全体にみなぎり、管理職の良きリーダーシップも相まって、取り得る最善の努力を行っていると感じます。

●自己肯定感を高める言葉かけや、人権を尊重する言葉かけは、リフレーミングの訓練をする必要がある。教職員の価値観や固定観念を変えるには時間がかかると思うが、粘り強く取り組んで欲しい。

7 「特色ある学校教育・学校環境の創出」

Q16	学校内外の活動を、お便りやホームページ、マチコミ等の活用により情報発信することができていますか。
-----	--

Q17	知的障害、肢体不自由、病弱の3つの障害に対応する学校として、特色ある教育活動の推進や学校の一体感を高めることができているか。
Q18	清潔で美しい学校環境を整えられていますか。
Q19	感染症予防に配慮した環境設定と対策ができているか。
Q20	那覇みらい支援学校の教育に満足していますか。

●学校便りは内容もわかりやすく学校の様子が分かりますね。ホームページをみましたが、スクールバスなど必要な連絡があるのですが、学校の概要もまだ出来ておらず、各学部の特徴や様子が見えません。是非とも整備をお願いします。知的障害、肢体不自由、病弱の3つの障害という最大の特徴を活かすのには教職員の意見を戦わす場面が相当必要となると思います。教員による生徒担当の仕方を工夫していく必要もあるかと感じます。学校環境や感染症対策は素晴らしく全く問題ないと思います。

教育満足度は保護者ではないので回答は難しいですが、これだけの環境で学習できるのは実に羨ましいと思っています。

●Q16～Q20についても、同様に現在取り得る最善の努力を行っていると思われます。今後とも頑張ってくださいと思います。

●地域の学校との関わりも出来て、良かったです。公園漫湖に接する自然環境の良い所にある学校の特色が出せたらと思います。

●開校に向けての様々な準備、開校してからの職員、児童生徒の受け入れ、実態把握、保護者対応等、とても大変だったと思います。校長先生をはじめ、開校準備室から労された教職員、全職員に敬意を表します。

●学校間交流は那覇みらいに招くだけでなく、今後は相手校にも出向き、関わり会える交流に発展する事を期待する。

●地域の方に学校を知って頂くためにもHPのブログで特色ある取組の様子の写真等を発信出来ないだろうか？

●withコロナでPTA活動が活性化する事、卒業生の余暇活動支援や20歳を祝う会の開催に向けて、青年学級の設置にも学校としてバックアップして欲しい。以上。

●学校評価の項目ですが、特に保護者・職員に対しては、新設校としてスタートの取り組み状況や(他校の学校評価でよく見られる項目ですが)PTA等保護者の学校との関わり、保護者と教職員の意思疎通などの項目もあったほうがよかったですと感じました。